

東京女子大學
日本文學研究會

日本文學

第八號

目次

- | | |
|----------------------------------|-----------|
| 東歌序詞の風土性
——武蔵国の歌の場合—— | 藤森朋夫（一） |
| 透谷は「文学界」同人では
なかったか | 笹淵友一（二三） |
| 薄田泣堇評伝
——新聞記者時代—— | 松村 緑（二六） |
| 有職故実研究が古典解釈に
もたらすもの | 小山敦子（三四） |
| 「出世景清」について
——古浄瑠璃「かげきよ」を通して—— | 松本誠子（四三） |
| 岡本綺堂の新しさについて
——術語集を資料として—— | 植田啓子（五二） |
| 研究報告
——術語集を資料として—— | 長沼悦子（五七） |
| 更級日記の夢
語彙 | 丸田啓子（五九） |
| 狂言詞集 | 古川 久（二〇五） |